

部局名	都市整備部	所属名	土木管理課	所属長名	加藤 正昭	電 話	483-1151 内線3610
-----	-------	-----	-------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（PLAN）

コード	3286	事務事業名称	土木総務事業					短縮コード	経常	3286	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	01	土木管理費	目	01	土木総務費
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		・道路法 ・八千代市道路占用料徴収条例 ・八千代市道路占用規則 ・屋外広告物法						
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）												
道路法(昭和27年)及び千葉県屋外広告物条例(昭和44年)の制定と千葉県から八千代市への権限委譲による。 市道の管理に関する総括的事務として、道路占用許可申請事務と屋外広告物許可申請事務。												
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	04	快適生活空間都市をめざして					
都市化の進行と、上下水道や都市ガスの普及に伴い、件数が増加している。景気に連動して増減する。					大項目（節）	02	道路					
					中 項 目	02	市道					
					小項目（施策）	02	一般市道の整備					
					細 項 目	01	市道の管理					
				実施計画の計画事業								
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～		計画事業費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（DO）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	市道の占用者と屋外広告物設置者及び不法に掲出された広告物の撤去を指導した。							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成18年度に実際に行ったこと： 許可申請書を審査し、許可書を発行した。 不法に掲出された広告物について掲出者に撤去を指導した。							
	※平成19年度に計画していること： 平成18年度と同じ。							
意図 （何を狙っているのか）	街の美観風致を維持するとともに占用工事を計画的に実施し、道路の安全で快適な通行の確保。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	道路機能の維持。							
区 分				単位	17年度	18年度		19年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	道路占用許可申請件数	件	1,231	1,200	1,224	1,200	
	指標2	屋外広告物等表示(設置)許可申請件数	件	73	55	101	55	
	指標3							
活動指標	指標1	道路占用許可件数	件	1,231	1,200	1,224	1,200	
	指標2	屋外広告物等表示(設置)許可件数	件	73	55	101	55	
	指標3							
成果指標	指標1	申請許可実績	%	100	100	100	100	
	指標2	申請許可実績	%	100	100	100	100	
	指標3							
上位成果指標	指標1	都市計画道路の整備済延長	m			34,567		
	指標2	市道の改良整備率	%			68.7		
	指標3							

コード	3286	事務事業名称	土木総務事業			所属名	土木管理課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			市道の管理に関する総括的事務として、道路占用許可申請事務と屋外広告物許可申請事務を適切に行っているが、事務量が毎年増加傾向にあり、事務の効率を図る上で、データ処理への移行が望ましい。 道路機能の維持・管理について、不法に掲出された広告物が増加していく可能性があるので、改善策を検討していく。		
		☒ 手法プロセスの改革・改善					
		☐ 事業規模の拡大・縮小					
		☐ 統合・役割見直し					
	☐ その他						
		☐ 廃止					
		☐ 休止					
		☐ 現状のまま継続					
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			パソコン導入によるコストの増加と、事務処理のデータ化による成果の向上が考えられる。
				削 減	不 変	増 加	
		成 果	向 上	☐	☐	☒	
			不 変	☐	☐	☐	
			低 下	☐	☐	☐	

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など							
占有工事による振動等の苦情と不法占用物件や広告物に対する指導取締りを求める要望が多い。							

所属長コメント	不法占用物件や広告物に対する指導を取り締まる要望が多いため、データ処理に移行した体制での迅速な対策の必要が生じる。							
評価調整委員会意見	☒ 改革改善して継続		経費の増加についてはその有効性と相対的に検討して実施すべき。					
	☒ 手法プロセスの改革・改善							
	☐ 事業規模の拡大・縮小							
	☐ 統合・役割見直し							
		☐ その他						
☐ 廃止								
☐ 休止								
☐ 現状のまま継続								